

令和7年度牧草・飼料作物の放射性物質測定業務仕様書

福島県農業総合センター（以下「甲」という。）と測定業務契約をしようとする者（以下「乙」という。）は、以下に定める仕様で牧草の放射性物質測定を実施する。

1 目的

牧草・飼料作物中の放射性セシウム濃度の測定を行い、利用可否の判断や安全性の確認に資する。

2 実施期間

令和7年4月1日から令和8年3月19日まで

3 検査対象及び検査予定点数

分析を依頼する次に掲げる試料 870点

放射性物質測定用牧草・飼料作物（永年生牧草、イネ科長大作物、稲わらほか）

4 業務内容

- (1) 甲は、「飼料中の放射性セシウムの検査方法について」（平成23年8月3日付け23消安第2489号農林水産省消費・安全局畜水安全管理課長通知）に沿って採取した試料約800g（水分が低い試料は約400g）を1試料ずつビニール袋に入れ密封する。
なお、試料番号については、ビニール袋に直接記入するものとする。
- (2) 試料は、甲が運搬業者等に依頼し 乙まで毎週木曜日に発送する。
運搬にかかる費用は、甲が負担するものとする。
- (3) 乙は、受取した試料を「飼料中の放射性セシウムの検査方法について」（平成23年8月3日付け23消安第2489号農林水産省消費・安全局畜水安全管理課長通知）に沿って前処理及び放射能（Cs134及びCs137）を測定する。
Cs134とCs137の測定下限値の和が20.0Bq/kg以下とする。
- (4) 乙は、試料の検査と併せて水分含量測定を行い、測定結果を水分含量80％ベース値に補正する。
- (5) 乙は、搬入週の翌週の火曜日までに別紙「牧草・飼料作物放射性セシウム分析結果報告書」により甲に報告を行うこととする。
- (6) 乙は、検査結果報告を行い確認を受けた試料については、搬入週の翌週の金曜日まで保管した後に、適正に処分し、その結果を報告するものとする。
- (7) その他、定めのない事項について疑義が生じたときは、甲、乙による協議のうえ定める。

5 その他

- (1) 乙が行った測定方法及び測定結果等に明らかな欠陥があり、再測定の必要が認められる場合は、甲と協議を行った上で、再測定を行うこととする。なお、これに係る経費についてはすべて乙が負担する。
- (2) 乙は、本業務で知り得た業務上の情報等について、この契約期間にかかわらず第三者に漏らしてはならない。